

## 事業概況

令和5年度は、令和2年1月に感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症から4年が経過しました。流行初期には致死率5%という重症度の高い感染症でしたが、ワクチン接種が開始されオミクロン株の拡大により、徐々に重症度が低下しました。

5月8日より感染症法上の位置付けが第5類へ移行され、定点報告となりこれまでの流行との比較が困難となっています。

国内経済活動の再開や外国人旅行者の増加等明るい兆しも感じられますが、今後の対応は、個人や施設・団体の自主的な判断が基本となります。

健診を実施する医療機関として引き続き、最新の医学情報を基に適切な感染対策を行い、安全安心な受診環境の確保に取り組んでまいります。

協会は、このような状況のなか感染防止対策を講じつつ、「健康長寿に向けて一がんの早期発見と予防—高品質の健診の提供」に取組み、感染拡大前に戻るための事業運営を図りました。

コロナ禍における健診体制の見直しや効率化でコスト削減を進める一方、新規事業所の獲得を中心に受診者数の増加を図り、原材料費、人件費高騰の影響もありましたが、健診事業収入が18億3千万円、前年比3.8%増と収益改善が図られました。

作業環境測定は、労働安全衛生法改正に伴い新たな化学物質規制が導入されたことから、リスク評価の見直しに応じた特殊健康診断との連携を強化することで、事業場における自律的な管理に向けた実施体制と職場環境の改善に取り組みました。

事業所実施件数は微増でしたが、測定料金の改訂に取り組んだ結果、売上高は前年比10%増となりました。

健診機関として「健康長寿」をコンセプトに、重大な疾病の早期発見に加え予防に取組む新規オプション検査を導入し、人間ドックを受診された方には、健診結果とライフステージに応じた検査を追加提案する「受診勧奨サービス」・「進化する個別化健診」に取り組んでいます。

公益目的事業では「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー (J.M.S)」、「健康チャレンジフェアかながわ 2023」に参加、「ほどがや区民まつり」は、電源に蓄電池を使用することで騒音や排気ガスが発生しない、環境に配慮した胸部検診車とともに「ロコモチャレンジ!立ち上がりテスト」で参加しました。

今後も総合健診機関として県民の健康保持増進のため、行政当局、関係学会、医師会、その他関係機関と連携して保健衛生の向上に邁進いたします。

# 令和5年度事業報告

## 1. 重点課題

### 1. 新規契約の獲得

健診環境の変化に対応した新規受注と受診者数の増加を図るため、広報・営業活動を推進すると共に、原材料・人件費のコスト高騰に伴う健診原価の把握と健診料金の適正化を図りました。

### 2. 健診の質・精度向上、職員教育

「安全で高品質な健診の提供」を図るため、部署ごとにテーマを設け年間7回の勉強会を開催しました。また(公社)全国労働衛生団体連合会、(一社)日本総合健診医学会、(公社)日本医学放射線学会等の外部研修会へ積極的に参加し、伝達講習等を通じ情報共有と精度向上を図りました。

### 3. 業務効率化

健康診断事業フローの見直しと整備を図り、施設健診・巡回健診スタッフの効率的な配置と最適化を進めると共に、カード型健診の検討を開始しました。

### 4. 健康経営

職員の健康管理を経営的な視点で考え、健康の維持・増進等の環境整備を目標に、健康経営優良法人取得へ向けた準備を進めました。

### 5. 企業・健康保険組合への情報提供

協会が保有する健診データの利活用を図り、有益なデータを提供しました。

## 2. 公益目的事業

### (1) 各種健康相談・保健指導

特定保健指導、栄養指導などに創意工夫を凝らすと共に、各事業所のストレスチェック事業にも積極的に取り組みました。保健師や管理栄養士のスキルアップに向けた研修等に参加し資質向上を図りました。

### (2) 作業環境測定

フィットテストの実施に向けた研修会への参加、機器の導入を進めると共に化学物質の自律的管理について情報提供を進め、研修会を実施しました。

新規事業所についても積極的に受け入れを行いました。

(3) 広報・啓発活動

- ① 「令和4年度(2022)事業年報」の発行
- ② ホームページの改修、更新
- ③ 健康情報紙「かな健」を発行、公的機関、事業所等へ配布
- ④ 各種学会へ参加、医療・労働衛生に関する情報を取得
- ⑤ 「協会広報紙」を隔月発行
- ⑥ 「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー(J.M.S)」に参加
- ⑦ 「ほどがや区民まつり」に参加
- ⑧ 「健康チャレンジフェアかながわ2023」へ参加

なお、労働衛生フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施には至りませんでした。

### 3. 法人事業

(1) 評議員会、理事会を定期的に開催し事業計画に基づき、適切かつ機能的な事業運営及び財政収支状況について審議を行いました。

① 評議員会

定時評議員会 (令和5年6月15日)

令和4年度事業決算報告

評議員の解任・選任

理事の選任

評議員会 (令和5年11月30日)

令和5年度上期事業経理状況報告

評議員会 (令和6年3月28日)

令和5年度事業経理状況報告

令和6年度事業計画・収支予算計画

② 理事会

第1回理事会 (令和5年5月29日)

令和4年度事業決算報告

定時評議員会の招集及び提出議案

令和5年度夏季賞与支給の件

参与委嘱の件

顧問退任の件

臨時理事会 (令和5年6月15日)

会長・常務理事の選定

事務局長任免の承認

顧問・参与の推薦

第2回理事会 (令和5年9月25日)

令和5年度事業概要・経理状況報告

臨時理事会開催の件

評議員会開催の件

補助事業申請の件

臨時理事会 (令和5年11月30日)

令和5年度事業概要・経理状況報告

年末賞与支給の件

第3回理事会 (令和6年1月29日)

令和5年度事業概要・経理状況報告

評議員会開催の件

第4回理事会 (令和6年3月25日)

令和5年度事業概要・経理状況報告

令和6年度事業計画書・収支予算書の承認

令和6年度職員給与改定

## (2) 経営の安定化と効率的な事業運営

- ① 事業運営の見直しと整備、効率的な運営と組織の充実をめざし、施設健診や巡回健診スタッフの効果的な配置に取り組み、健診の効率化を図りました。
- ② 個人情報保護委員会、リスクマネジメント委員会、ハラスメント対策委員会、固定資産購入運営委員会、安全衛生委員会などの推進と精度管理委員会等の活性化を図りました。

## 4. 一般事業

### (1) 定期健康診断

令和4年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、受診者の皆様に「安心」・「安全」に健康診断を提供することができました。また、労働安全衛生法による定期健康診断を進めると共に全項目実施を推進し、原材料費、人件費の高騰を受け、適正価格での健診を行いました。

### (2) 特殊健康診断

騒音防止ガイドライン改定への対応、また化学物質の自律的管理に関する情報を提供するため勉強会等を実施いたしました。

### (3) 生活習慣病健診

#### ① 施設健康診断

受診者からの要望が高いオプション項目の充実に取り組み、選択肢を拡げることと満足度の高い健診を目指すと共に、肥満・メタボリックシンドローム、飲酒、糖尿病の方を対象とした肝検診を継続して実施しました。

大和診療所施設健診の活用拡大と効率化から実施回数の増加を図りました。

#### ② 巡回健康診断

特定健診・特定保健指導初回面談の当日実施を積極的に進め、全国健康保険協会管掌の生活習慣病にも引き続き取り組むと共に、より利便性の高い巡回健診の会場を設定致しました。また住民検診の規模拡大を目指し、神奈川県下2市を新規で受託しました。

#### ③ がん検診

がん対策推進基本計画第4期が2023年度から開始されたことを受け、精度管理の向上と効率化のため、紹介状出力を自動化し職員の負担を軽減しました。また5がん検診全ての精検者に紹介状を同封し、フォローアップ体制の強化・精検受診率の向上を目指しました。

精検結果返信後のデータ登録を見直し、がん検診の集計を強化しました。

#### ④ 風疹抗体検査

2019年4月から開始された風疹抗体検査の期限が延長されたことを受け、職域における風疹抗体検査を継続実施しました。

### (4) 学童・生徒の健康診断

学校健診では、健康維持増進に向けた的確な健診体制を確立しました。心電図検査は、校医、担当養護教諭等と連携を密に、受診率の向上と効率化の促進を図り、私立学校の健診拡大を強化しました。

## 5. メンタルヘルス支援事業

ストレスチェック実施体制の充実を図り、事業所の要望に沿った実施体制の整備を図りました。また、定期健康診断時にメンタルヘルスチェックを行い、事後指導と職場環境改善の情報提供に取り組みました。

## 6. 総合精度管理関係事業

- (1) 労働衛生サービス機能評価認定更新に向け、定期内部自主監査の実施
- (2) 日本総合健診医学会が実施する優良総合健診施設認定更新に向けた取り組み
- (3) がん検診における精検受診率向上に向けた取り組み
- (4) 日本消化器がん検診学会が実施する総合認定医取得に向けた取り組み

- (5) 日本消化器がん検診学会が実施する読影補助認定取得に向けた取り組み
- (6) 日本超音波検査学会が実施する超音波検査士認定取得に向けた取り組み
- (7) 日本不整脈心電学会が実施する心電図検定取得に向けた取り組み
- (8) 精度の維持・向上のため、次の精度管理調査に参加しました。
  - ①(公社)全国労働衛生団体連合会が実施する労働衛生検査・臨床検査・胸部X線検査・腹部超音波検査・胃X線検査の精度管理調査事業
  - ②(一社)日本総合健診医学会が実施する臨床検査・胸部X線検査・心電図検査の精度管理調査事業
  - ③(公社)日本医師会が実施する臨床検査の精度管理調査事業
  - ④(一社)日本超音波検査学会が実施する画像コントロールサーベイ(健診領域)
  - ⑤日本乳がん検診精度管理中央機構が実施するマンモグラフィ施設・画像評価

## 7. 教育・研修

- (1) 全衛連をはじめ各団体の主催する研修に積極的に参加しました。  
健康診断全般にわたる基本的事項及び専門的事項について、各種専門技術研修会に参加し、健診従事者として知識の向上とスキルアップを図りました。

### ① 表彰

(公社)全国労働衛生団体連合会

功績賞 システム運用部 部長代理 金丸 ルミ子

奨励賞 集団健診部 主任 半戸 美砂

(公社)神奈川労務安全衛生協会横浜西支部

功労賞 事業運営部 課長 富田 絵美

功労賞 総務財務部 主任補 吉川 剛

- (2) 各種精度管理研修受講後には、研修内容の伝達講習及び技術指導研修を実施しました。
- (3) 内部研修は、職員の福利厚生制度の充実に関する情報提供を事業所ごとに実施、さらに部署ごとにテーマを決め、Web配信にて研修会を行いました。  
引き続き研修計画を策定し実施いたします。